

# ふくいの環境

令和6年度実績



福井市

# はじめに

---

本書は、令和6年度の福井市の環境に関する概要をまとめたものです。詳細なデータ等につきましては、福井市環境政策課のホームページに「ふくい環境 資料編」を掲載します。皆様方に広くご活用いただくことで、環境問題や環境行政に関する理解を深め、環境の保全と創造に向けた活動の一助となれば幸いです。

## 目次

---

はじめに・目次.....	1
第1部 第4次福井市環境基本計画.....	2
1 第4次福井市環境基本計画.....	2
2 進捗状況.....	3
3 福井市環境推進会議の活動実績.....	5
第2部 福井市の環境状況.....	7
1 自然環境.....	7
2 地球温暖化.....	8
3 環境教育・啓発.....	10
4 大気.....	11
5 公共用水域の水質.....	14
6 地盤沈下.....	15
7 騒音.....	16
8 化学物質.....	17
9 ごみの排出と処理状況.....	18
10 美しいまちづくり.....	20

# 第1部 第4次福井市環境基本計画

## 1 第4次福井市環境基本計画

### 福井市環境基本計画とは

本市では、良好な環境の保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に進めていくため、平成12年度に福井市環境基本計画を策定しました。以降、社会情勢の変化や環境の現状と課題、国の動向などを踏まえて、平成23年度、平成28年度に改定を行ってきました。

令和3年度の改定では、さらに「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方も取り入れ、「目指す環境像」の実現に向けた政策や指標の設定等を見直しました。

### 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

### 計画の基本方針

<目指す環境像>

未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい



### 基本方針

— 全員が協力して計画を推進します —

1. 豊かな自然や生き物を守り育て、将来に伝えます
2. 快適な暮らしを守り、水と緑が豊かな都市環境を創出します
3. 温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の影響に適応した社会づくりを進めます
4. ごみを減らし、資源を大切にする循環型社会づくりを進めます
5. 市民・市民組織・事業者・行政が、共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます

### 「持続可能な開発目標（SDGs）」との関係

国際連合は、平成27年に採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、「環境」「経済」「社会」に関わる17のゴールと169のターゲットから成る「持続可能な開発目標（SDGs）」を、世界共通の達成目標として掲げました。そして、SDGsのゴールを達成するためには、あらゆる関係主体がパートナーシップを促進することが必要であると宣言しました。

本市においても、市民、市民組織、事業者など、あらゆる関係主体とのパートナーシップを促進し、「環境」という側面における個々の課題を解決することにより、あわせて「経済」「社会」といった他分野にも好循環をもたらし、複数のSDGsのゴールの達成に貢献（マルチベネフィット）していくことを目指します。



## 2 進捗状況

### 1 自然環境



#### 施策① 自然環境の保全と再生

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市の優れた自然の調査実施数(力所)	8	2	4	6	8	-	累計 10
間伐面積(除伐面積含む)(ha)	1,624	421	817	1,105	1,452	-	累計 2,000

#### 施策② 協働による里地・里山の利活用

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
足羽山どんぐりプロジェクト育苗協力学校数(校)	-	10	20	30	40	-	累計 50
環境ボランティア制度登録者数(人)	193	263	312	353	390	-	累計 430



### 2 生活環境・都市環境



#### 施策① 生活環境の保全

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
大気、水質(河川・海域)における環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	-	100
大気、水質等におけるダイオキシン類の環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	-	100
有害大気汚染物質の環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	-	100
汚水処理人口普及率(公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽)(%)	96.4	97.5	98.3	99.1	99.5	-	100

#### 施策② 都市の水と緑の保全と創出

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
都市公園面積(ha)※	380.26	-	-	-	-	-	385.91
都市環境美化活動団体数(団体)	74	78	81	86	91	-	92

※ 5か年で継続的に整備を進め、供用開始をもって目標の達成となります。

### 3 地球温暖化対策・エネルギー



#### 施策① 家庭や事業所などにおける省エネルギーの推進

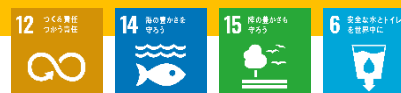
環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5 (速報値)	R6	R7	目標 (R7)
福井市における温室効果ガス排出量 (千t-CO <sub>2</sub> /年) ※	2,171	2,037	2,137	2,001	-	-	1,954 以下
年間エネルギー消費量 (百万MJ/年) ※	31,444	33,726	34,838	32,843	-	-	28,928 以下
クールチョイス賛同者数 (人)	8,740	10,524	12,411	14,392	16,213	-	累計 18,000

※ R5の数値は、国のR5年度分都道府県別エネルギー消費統計等（速報値）を基に算出。確定値及びR6年度分都道府県別エネルギー消費統計等は、令和8年中に公開見込み。

#### 施策② 環境負荷の少ない交通環境の構築

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
公共交通機関の乗車人数 (万人/年)	895	738	819	860	875	-	902

### 4 廃棄物・資源循環



#### 施策① ごみの発生抑制と資源循環の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
市民1人1日あたりのごみ排出量 (g)	892	855	843	806	804	-	801 以下
燃やせるごみへの資源物混入率 (%)	22.4	22.7	26.6	24.5	19.0	-	18 以下 (R10)
ふくいマル優エコ事業所登録数 (社)	45	57	62	72	77	-	100 (R10)

### 5 環境教育・環境学習



#### 施策① 環境教育の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市環境学習プログラム取組校 (年/校)	69	69	69	69	69	-	69 (市立幼小中学校)

#### 施策② 多様な主体による環境学習の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
環境学習会参加者数 (人)	7,196	1,985	4,516	6,837	9,223	-	10,000
市民・事業者・行政などが協働した環境取組数 (回/年)	3	18	19	18	19	-	15

# 3 福井市環境推進会議の活動実績



## 福井市環境推進会議の 令和6年度の活動実績

### 福井市環境推進会議について

「福井市環境基本計画」を推進するため、市民、市民組織、事業者、行政により構成され、環境保全意識の向上に関する事業を協働で実施しています。

構成：総会、理事会（役員17名）、3部会  
会員：63企業・団体、6個人（令和7年3月末日現在）

### 共通事業

#### ●福井市環境フェア

「環境にやさしい持続可能なまちふくい」をテーマに、地球温暖化対策、自然環境の保全、ごみ削減などに関する様々な参加型企画やパネル展示を行い、市民の環境意識の向上を図りました。



#### ●三部会連携事業

ゼロカーボンに関する川柳を作成する「ゼロカーボン川柳コンテスト」を開催しました。入賞作品は、福井市ホームページ上での発表や、各種パネル展等で展示し、市民のゼロカーボンに関する啓発を図りました。

### 自然創造部会

#### ●守り伝えたい自然の保全活用

鮎川漁港で海の生き物観察会を行いました。  
また、一乗谷で星空観察会を行いました。

#### ●足羽三山の生態系保全

「足羽三山のSATOYAMAを守る会」と連携し、足羽山の竹林整備を行うなど里山保全活動に努めました。

#### ●自然ファンクラブ事業

自然環境保全に関する知識や技術習得のための学習会等を開催し、活動への積極的な参加を促し、人材育成を行いました。

#### ●福井市のすばらしい自然コンテスト

福井市内のすばらしい自然に触れ合うことで、その美しさや大切さに気付いてもらい、自然環境保全について考えるきっかけとしてもらうことを目的に、写真・動画作品コンテストを開催しました。



最優秀作品  
「雲海の朝」  
撮影場所：下市町下市山

【写真部門】

### エネルギー・資源部会

#### ●「グリーンカーテン」の設置

商店街の潤いや賑わいを創出し、さらに生活スタイルの脱炭素をPRするため、西武福井店（正面）及びえちぜん鉄道福井駅（東面）に「グリーンカーテン」を設置しました。



#### ●企業交流会

福井市内の中小企業等を対象に、県内事業者における省エネ設備等の導入事例等を紹介するセミナーを実施しました。あわせて、情報交換や省エネ診断事業者による個別相談会を実施しました。

### 環境教育部会

#### ●みんなの環境学習（8講座）

市民を対象として、身近な環境に関するテーマについて講義を実施しました。

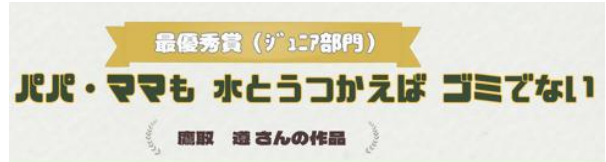
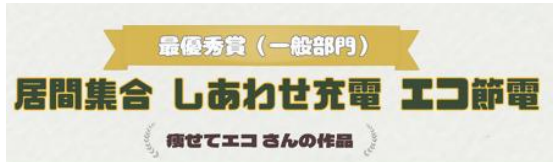
#### ●児童館出前講座（9児童館9講座）

環境問題や環境保全に主体的に関わる能力や行動を育成することを目的に、市内児童館を対象として、電気・水・ごみについて講座を実施しました。

福井市環境推進会議が開催した各種コンテスト等の入賞作品をご紹介します。

### <3 部会連携事業>

「ゼロカーボン川柳コンテスト」最優秀賞入 庄作品



### <エネルギー資源部会事業>

「おうち DE 省エネコンテスト」入賞作品

工夫された取組で賞

ユニークな取組で賞

節電がんばったで賞

**工夫された取組で賞**  
塚谷 諒子様の取組

- 家族みんなで一つの部屋に集まって過ごし、他の部屋でのエアコンの使用を減らしました。
- 朝から暑い場合は、ベランダで家庭用ミストを使い、涼しい気分を味わいました。
- 仕事が休みの日は、スポーツセンターや図書館で過ごし、商業施設でゆっくり過ごしたりして、家での電気使用量を減らしました。

電気使用量 (kwh)  
4300  
4100  
3900  
3750  
3500  
3300  
3100  
2900  
2700  
2500  
2300  
2100  
1900  
1700  
1500  
1300  
1100  
900  
700  
500  
300  
100  
0

昨年 今年  
昨年の電気使用量から、**11.7%削減!**

**ユニークな取組で賞**  
野村 浩紀様の取組

- 今までは大人の寝室と子どもの寝室を分けていたが、今年はエアコンの使用を抑えるため**1部屋に集まって寝る**ようにしました。
- 今年になって**蓄電池**を購入し、日中に貯まった電力を夜間に使用するようになりました。寝る前の家族の会話が増え、これはこれよかったと思います。

電気使用量 (kwh)  
3500  
3400  
3300  
3200  
3100  
3075  
3000  
2900  
2800  
2700  
2600  
2500  
2400  
2300  
2200  
2100  
2000  
1900  
1800  
1700  
1600  
1500  
1400  
1300  
1200  
1100  
1000  
900  
800  
700  
600  
500  
400  
300  
200  
100  
0

昨年 今年  
昨年の電気使用量から  
**12.8%削減!**

**節電がんばったで賞**  
坂本 大樹様の取組

- エコキュートに替えました。
- 暑くてもエアコンの**設定温度を前年より高めに**設定しました。
- エアコンとサーキュレーターを併用して、電気使用量を減らしました。
- 電気をこまめに消しました。

電気使用量 (kwh)  
1000  
900  
800  
700  
650  
600  
500  
400  
300  
200  
100  
0

昨年 今年  
昨年の電気使用量から  
**34.3%削減!**

「みんなで一つの部屋に集まって過ごすなどの工夫をして、昨年の電気使用量から約11%削減しました!」

「蓄電池を利用するなどの工夫をして、去年の電気使用量から約12%削減しました!」

「エコキュートへの賞替えやこまめな消灯などに取組み、昨年の電気使用量から約32%削減しました!」

※その他、入賞作品は、福井市環境政策課ホームページに掲載しています。



### <自然創造部会事業>

「福井市のすばらしい自然コンテスト」写真部門入賞作品

最優秀賞



「雲海の朝」  
撮影場所：下市町下市山

優秀賞



「錦に染まる」  
撮影場所：花野谷町ひつめの滝

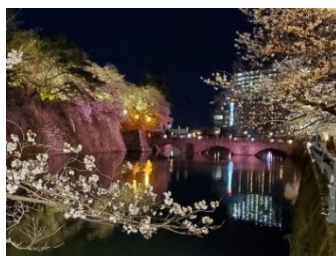


「幸せを運ぶ滝」  
撮影場所：五太子町

特別賞



「金色の夕日」  
撮影場所：城戸ノ内町



「夜桜橋景」  
撮影場所：福井県庁前



「栄光」  
撮影場所：鮎川町鉾島

## 第2部 福井市の環境状況

### 1 自然環境

#### 守り伝えたい福井市の優れた自然

福井市環境推進会議自然創造部会では、福井市の豊かな自然を守り育て、将来に伝えていくための取組を進めています。ここでは、同部会が行っている「福井市の優れた自然調査」や「自然学習講座」で、令和6年度に活動した場所を紹介します。

#### 鮎川漁港（海の生き物観察会）



鮎川漁港が位置する越前海岸は、国定公園に指定されている美しい海岸線であり、多くの生き物が生息しています。

令和6年9月に開催した生き物観察会では、アナハゼやハオコゼ、タツノオトシゴ、ダイナンギンボなど、さまざまな生き物を観察することができました。



#### 一乗谷（星空観察会）

一乗谷は、福井市街の東南約10kmに位置し、1971年には国の特別史跡に指定されました。また、環境省が2018年8月に実施した調査では、

「夜空の明るさ」が20等級以上※という結果が報告されており、星空観察に適した場所として知られています。

令和6年11月に開催した星空観察会では、上弦の月や土星、アンドロメダ銀河、プレアデス星団など様々な天体を観察することができました。

※20等級以上は、一般的に天の川が見えやすいと考えられる地点



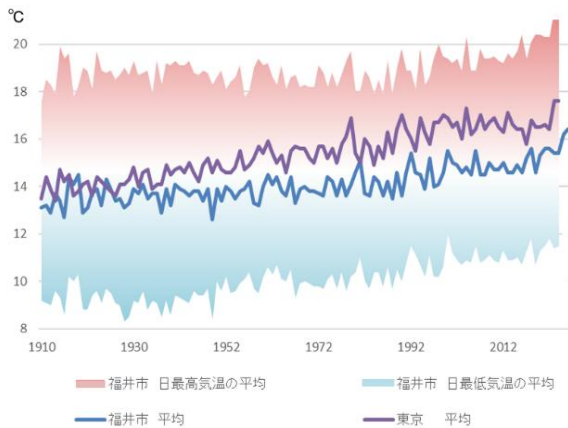
このほか、福井市環境政策課ホームページ内では、「守り伝えたい福井市の優れた自然」14か所を紹介したパンフレットを掲載しています！



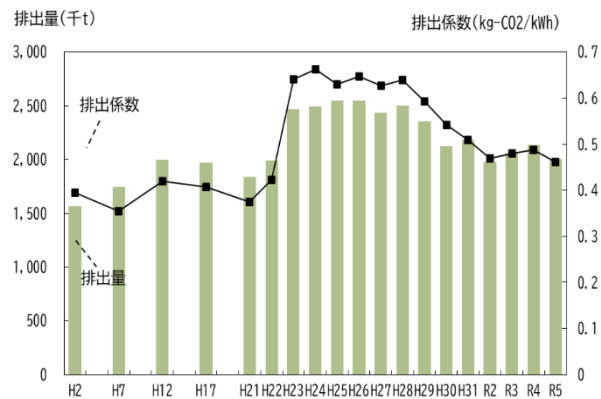
## 2 地球温暖化

### 温暖化の現状

100年間の気温変動（年平均値）



福井市の温室効果ガス排出量



※平成 26 年度分からエネルギー消費統計の引用値を変更。

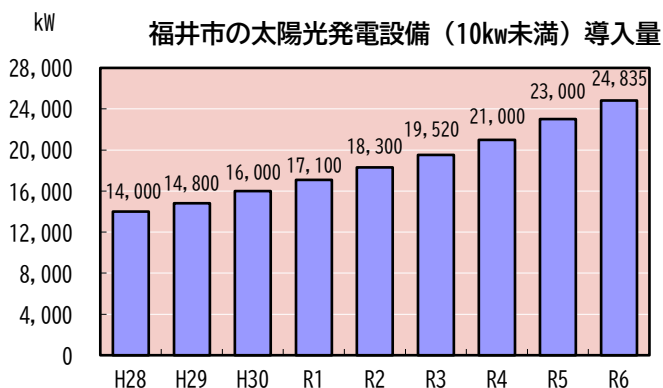
福井においても、平均気温は上昇しており、全国同様温暖化の傾向にあります。また、福井市における温室効果ガス排出量のうち、電力の消費に伴う分が半分程度を占めています。そのため排出係数の減少は温暖化効果ガスの排出の減少と連動しています。

### 温室効果ガスの削減に向けた取組

#### 太陽光発電設備導入量の増加

福井市では、平成 13 年度から 28 年度まで住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助を行ってきました。平成 28 年度末までの累計補助実績は、2,574 件（11,440kW）となっています。

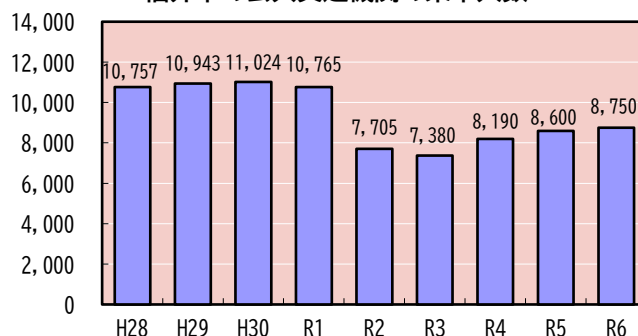
令和 6 年度からは、自家消費型の太陽光・蓄電池設備の導入補助を開始し、実績は太陽光と蓄電池のセット導入が 20 件、太陽光のみの単独導入が 3 件となりました。



#### 公共交通機関の利用促進活動

徒歩や自転車、公共交通機関を移動の中心とした環境負荷の少ない交通環境整備を進めています。

千人 福井市の公共交通機関の乗車人数



※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校や観光客の減少、外出自粛の影響を受けたため、乗車人数が大幅に減少しています。

※令和 3 年度からは、JR（経営分離により、令和 6 年度からはハピライン）を除いた集計方法に変更しています。

### 脱炭素アクションプランの策定

2050年のゼロカーボンシティの実現に向け、地球温暖化対策の分野別計画として、「地球温暖化対策実行計画 福井市脱炭素アクションプラン」（令和7年度～令和12年度）を策定しました。

本計画に基づいた施策を計画的かつ包括的に進めることで、市民生活のあらゆる側面で省エネルギー取組を進め、地域の特性に沿った再生可能エネルギーの最大限の導入を推進し、温室効果ガスの排出削減を図っていきます。

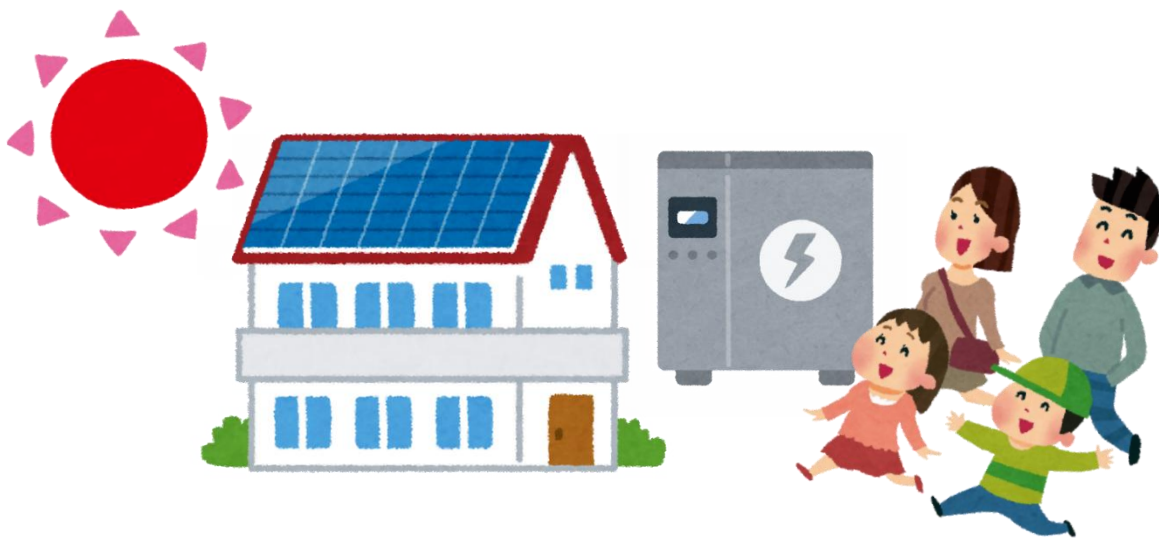
省エネルギーの取組を推進し、地域特性に沿った再生可能エネルギーの最大限の導入を図り、温室効果ガス排出の削減を目指します。



### 太陽光発電設備・蓄電池の導入支援事業

県の「住宅の太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助金」を活用し、個人住宅に自家消費型の太陽光発電設備や蓄電池設備を導入する際に係る経費を補助する制度を始めました。

家庭での再生可能エネルギーの活用を促進し、福井市内におけるさらなるCO<sub>2</sub>の削減を目指します。



### 3 環境教育・啓発

#### 福井市環境フェア

- ・開催日 令和6年6月29日（土）
- ・場所 ハピテラス（福井市中央1丁目2-1）
- ・主催 福井市、福井市環境推進会議
- ・テーマ 「環境にやさしい持続可能なまちづくり」
- ・来場者数 約3,300名（延べ）



#### 内容

- ・会場で使用する電気を全て再生可能エネルギーを活用した
- ・「CO<sub>2</sub>フリーイベント」として、初の開催
- ・まだまだ使えます！抽選会
- ・トレジャーハンター（環境に関するクイズラリー）
- ・フードドライブ
- ・雑がみ回収ブース
- ・市民組織、事業者、行政等の取組事例のパネル展示
- ・オリーブの苗木プレゼント
- ・声優イベント



#### みんなの環境学習

広く一般市民を対象に、環境に関する学習の場を提供しました。

- 【期間】 令和6年5月～令和7年2月  
【回数】 全6回  
【テーマ】 ①グリーンカーテンで夏をCOOLに過ごそう！  
②ソーラーミニカーを作ろう！  
③竹害とミニ門松づくり  
④冬の節電とゆび編みマフラー  
⑤地産地消とみそづくり  
⑥ごみを出さない地球1個分の軽やかな暮らし



#### みんなの環境学習（青年向け講座）

主に青年層を対象に、環境に関する学習の場を提供しました。

- 【期間】 令和6年10月～令和7年3月  
【回数】 全2回  
【テーマ】 ①笏谷石で作るミニハウス  
②おいしいコーヒーにまつわる環境の話



#### 環境学習プログラム

福井市では、学校における環境教育や環境保全活動を効果的に進めることを目的として、平成18年度から「福井市学校版環境ISO認定制度」を運用し、平成26年度からは「持続可能な開発のための教育（ESD）」の視点を取り入れ、「環境学習プログラム」事業として、取組を発展させています。市内の市立幼・小・中学校全69校が本事業に参加し、各学校では、教員、児童・生徒が役割分担を行い、計画的な環境活動の取組を進めています。

## 4 大気

大気汚染については、二酸化窒素やベンゼン、ダイオキシン類等の11項目について環境基準が定められています（ダイオキシン類については、「8 化学物質」に記載）。

福井市内では、一般環境大気測定局3箇所（うち1局はクリーンセンター測定局も兼ねる）、自動車排出ガス測定局1箇所及びクリーンセンター測定局3箇所を設置し、環境基準の達成状況等を把握しています。また、緊急時に迅速かつ的確に対応できるように、これらの測定局と中央監視局を通信回線で結ぶテレメータシステムにより大気汚染状況を常時監視しています。

### 大気汚染に係る環境基準等

令和6年度における環境基準の達成状況は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質について、全測定局で環境基準を達成しており、良好な大気環境が維持されています。

光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準を超過しましたが、光化学オキシダント注意報の発令はありませんでした。なお、令和6年は、全国14都府県で注意報等が発令されました。

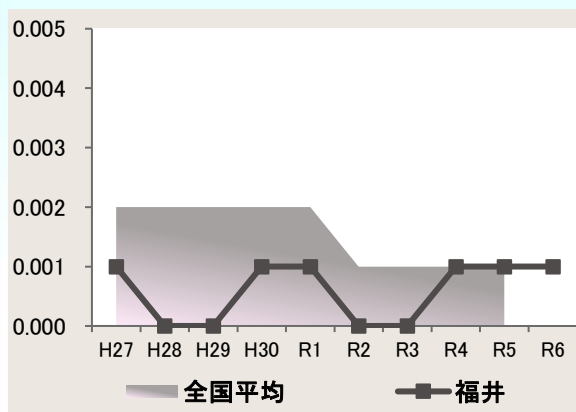
#### <令和6年度の環境基準達成状況>

区分	局名	二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	オキシダント	微小粒子状物質
一般環境大気測定局	福井局	○	○	○	×	○
	石橋局	○	○	○	-	-
	岡保局	○	○	○	×	-
自動車排出ガス測定局	自排福井局	-	○	○	-	○

SO<sub>2</sub>

二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）

#### SO<sub>2</sub>濃度（ppm）の年平均値の推移



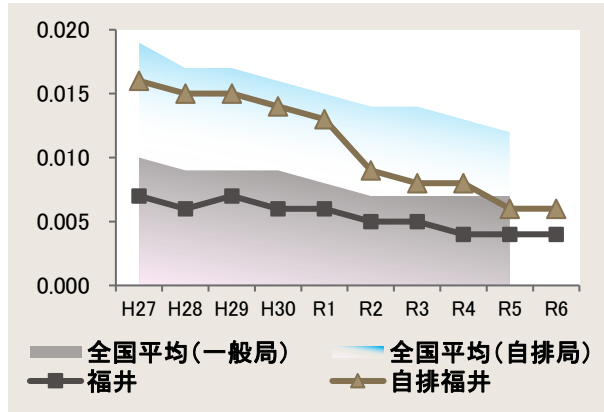
硫黄酸化物は、硫黄分を含む化石燃料等の燃焼などにより発生します。高濃度で呼吸器へ影響を及ぼすほか、酸性雨の原因物質にもなります。



## NO<sub>2</sub>

## 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

NO<sub>2</sub>濃度 (ppm) の年平均値の推移

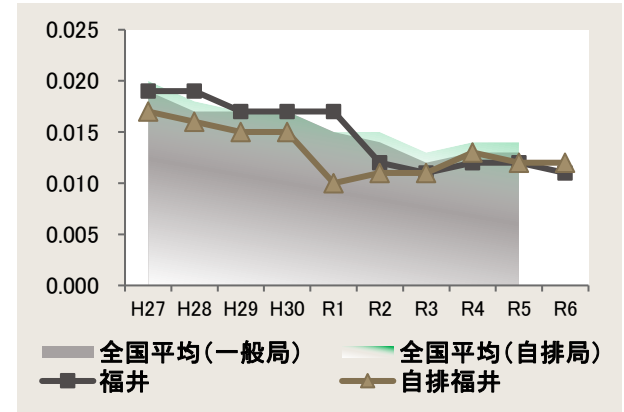


窒素酸化物は、主に化石燃料の燃焼に伴い、燃料又は空気中の窒素が酸化されることにより発生します。暖房用に燃料が多く使用される冬に濃度が高くなる傾向があります。

## SPM

## 浮遊粒子状物質 (SPM)

SPM濃度 (mg/m<sup>3</sup>) の年平均値の推移



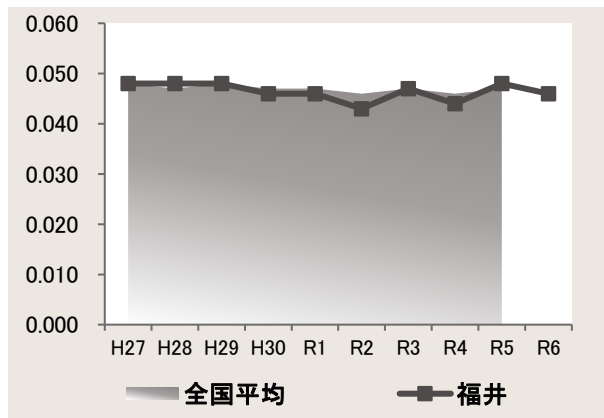
浮遊粒子状物質は、工場のばい煙や自動車の排ガス等から発生し、気道や肺胞に沈着して呼吸器に影響を及ぼすといわれています。

※自排：自動車排出ガス測定局

## O<sub>3</sub>

## 光化学オキシダント

オキシダント濃度 (昼間の日最高1時間値: ppm) の年平均値の推移



光化学オキシダントは、工場の煙や自動車の排ガスなどに含まれている窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) や炭化水素 (HC)、揮発性有機化合物 (VOC) などが、太陽からの紫外線を受けて光化学反応を起こして生成される、酸化力の強い物質の総称です。

光化学オキシダントの濃度が高くなると、目やのどに刺激を与え、「目がチカチカする」「のどが痛い」等の健康被害がみられることがあります。

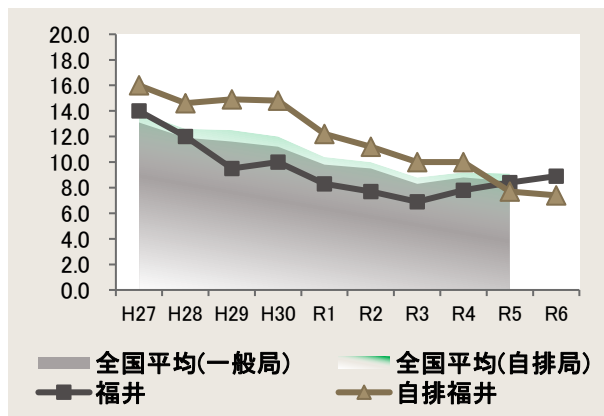
日差しが強い、気温が高い、風が弱い日などに高濃度になりやすく、注意が必要です。



## PM2.5

## 微小粒子状物質

PM2.5濃度 (μg/m<sup>3</sup>) の年平均値の推移



PM2.5は、大気中に浮遊する粒子のうち、直径が2.5μm以下(1μmは1mmの千分の1)のごく小さな粒子です。粒子が非常に小さい(髪の毛の太さの30分の1)ため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患への影響のほか、肺がんのリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。



<出典:米国 EPA>

## 有害大気汚染物質の状況

令和6年度は、優先取組物質 23 物質のうち、六価クロム<sup>※1</sup>及びダイオキシン類<sup>※2</sup>を除く 21 物質について調査<sup>※3</sup>を実施しています。

環境基準が定められている 4 物質及び指針値が定められている 11 物質について、環境基準値及び指針値を超過した物質はありませんでした。

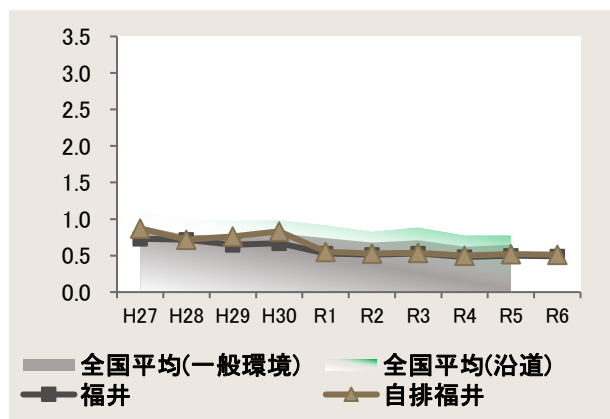
※1 六価クロムは、クロム及びその化合物として分析

※2 ダイオキシン類の調査結果については、「8 化学物質」に記載

※3 平成 30 年度までは、県が調査を実施

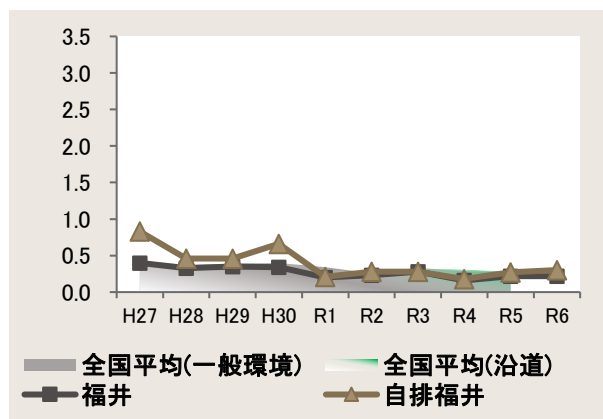
### ベンゼン

環境基準：3.0  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



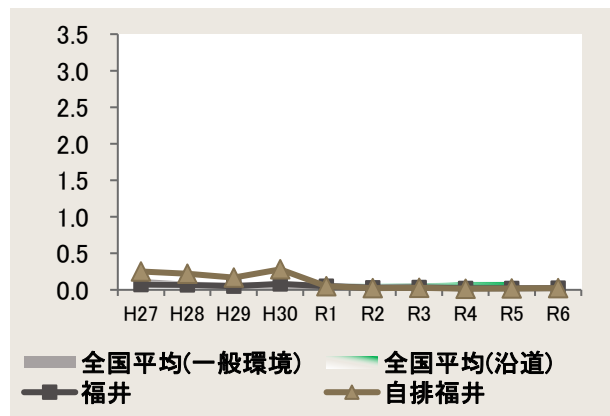
### トリクロロエチレン

環境基準：130  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



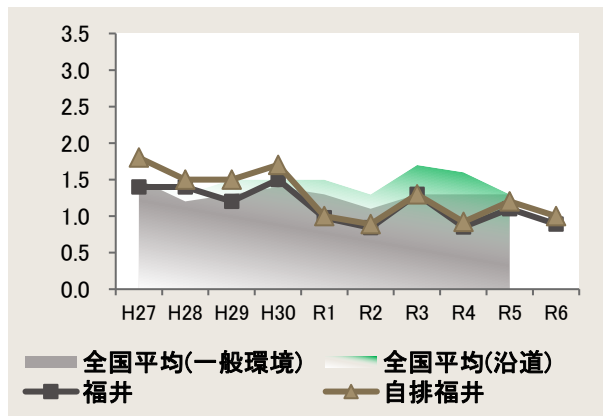
### テトラクロロエチレン

環境基準：200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



### ジクロロメタン

環境基準：150  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



## 5 公共用水域の水質

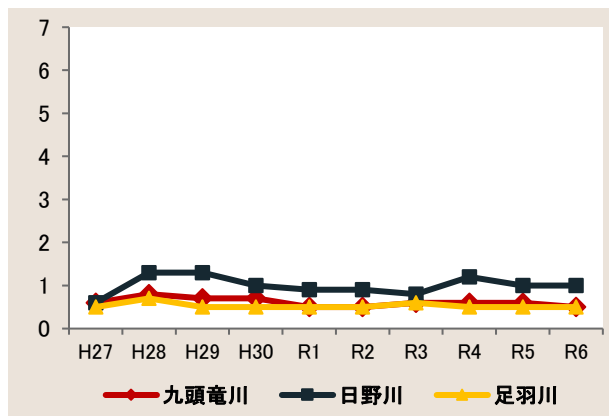
福井市では、市内 14 河川 19 地点及び地先海域 7 地点において、環境基準項目及び要監視項目の水質検査を定期的実施しています。

令和 6 年度における環境基準の達成状況は、「人の健康の保護に関する環境基準」については、すべての調査地点で基準を満たしていました。また、BOD<sup>\*1</sup>や COD<sup>\*2</sup>などの「生活環境の保護に関する環境基準」については、類型指定された河川及び海域において、ほぼ基準を満たしていました。

### 河川

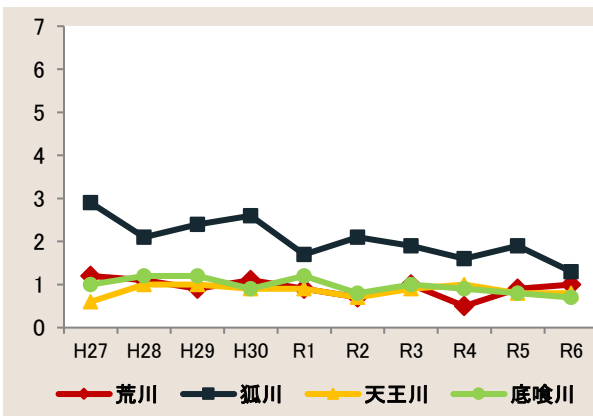
BOD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 九頭竜川、日野川、足羽川



九頭竜川水系の主要河川（九頭竜川、日野川、足羽川）の BOD については、環境基準を満たした低い値で推移しており、良好な水質が維持されています。

#### 荒川、狐川、天王川、底喰川

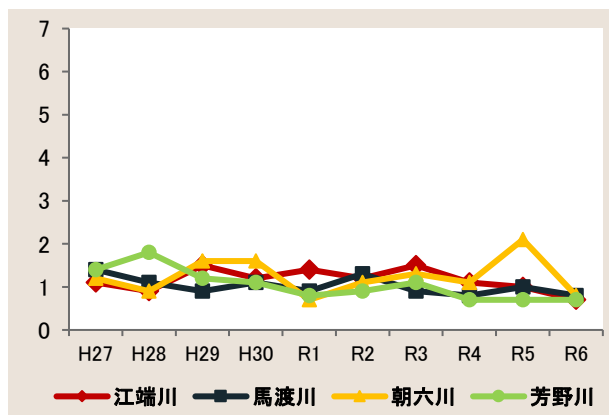


九頭竜川水系の支派川（類型指定あり）の BOD については、年々きれいになっており、環境基準を満たした良好な水質となっています。

### 河川

BOD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 江端川、馬渡川、朝六川、芳野川

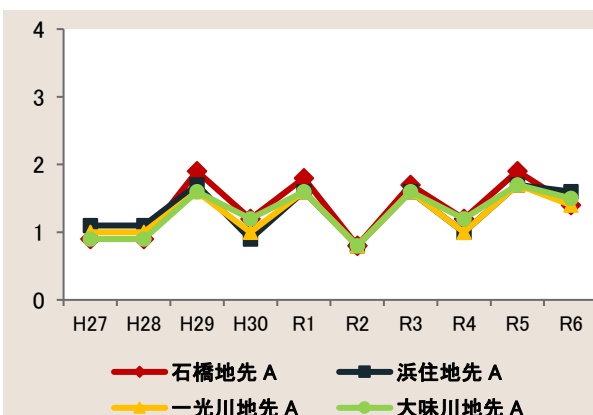


九頭竜川水系の支派川（類型指定なし）の BOD についても、他の支派川と同じように年々きれいになっており、良好な水質となっています。

### 海域

COD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 石橋地先、浜住地先、一光川地先、大味川地先



海域の COD については、環境基準を満たしており、良好な水質が維持されています。

※1 BOD：河川の水質汚濁の度合いを示すもので、この数値が大きいほど河川が汚れていることを表す。

※2 COD：海域・湖沼の水質汚濁の度合いを示すもので、BOD同様、この数値が大きいほど海域等が汚れていることを表す。

## 6 地盤沈下

地盤沈下は、大量の地下水を汲み上げることにより、帯水層の水圧が下がり、これによって粘土層中の水がしぼり出され、その結果、粘土層が収縮するため起こるとされています。

### 地盤沈下・地下水位の観測

福井市では、昭和40年頃から下荒井などの南部地域において地盤沈下が認められており、福井県と協力して、昭和51年度から地盤沈下と地下水位の観測を行っています。

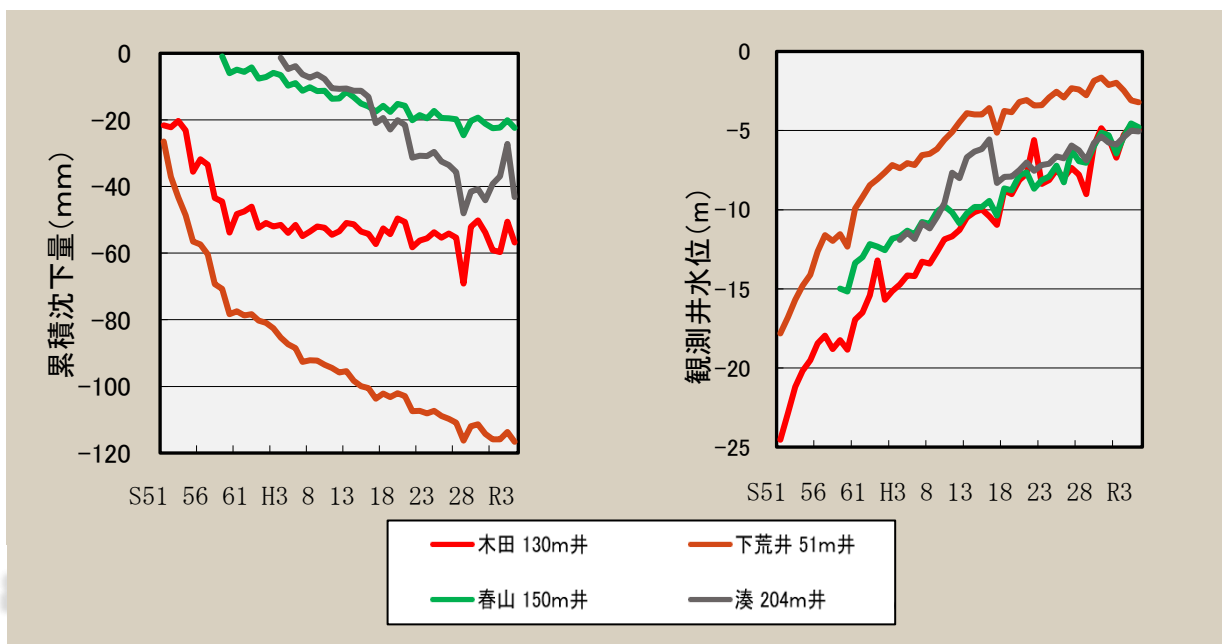
観測所名	所在地	井戸深度	設置者
木田観測所	明倫中学校敷地内	28m	県
		130m	市
下荒井観測所	八幡神社境内	51m	県
春山観測所	春山小学校敷地内	43m	市
		150m	市
湊観測所	湊小学校敷地内	204m	市



### 地盤沈下・地下水位の経年変化

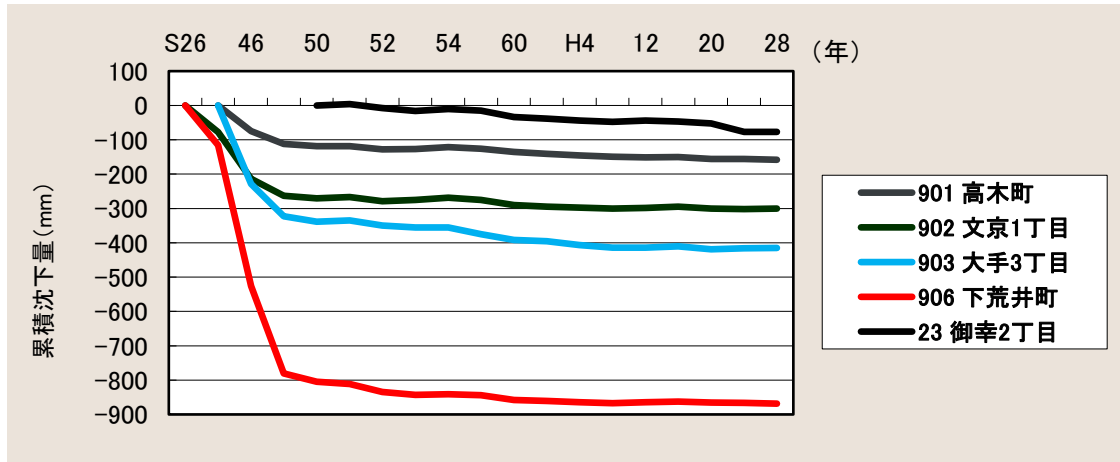
昭和60年頃から地盤沈下は沈静化しています。これは、工場などの地下水使用量の減少などにより、地下水位が回復してきているためです。

しかし、消雪目的の地下水利用により冬季に地下水位が低下するため、現在も少しずつ地盤が沈下しています。なお、平成29年度は大雪の影響により、例年よりも大きな地盤の沈下が見られました。



福井市では、国、福井県の実施に合わせて水準測量を実施しています。

昭和50年頃までは、下荒井などの南部地域において年間1cm以上の水準点の沈下が観測されましたが、平成4年度以降の測定では、ほとんどの地点において年間5mm未満の沈下量であり、市内の地盤沈下は総じて沈静化しているといえます。



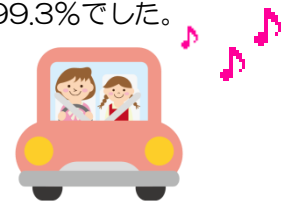
## 7 騒音

福井市では、道路に面する地域において、環境基準の達成状況の調査を行っています。令和6年度の調査結果は、次のとおりです。

### 道路に面する地域の騒音調査結果

幹線道路から50mの範囲にあるすべての住居等を対象に、実測値や交通量等のデータから、個別住居ごとの自動車騒音レベルを推計し、環境基準を超過する住居等の割合を評価しています。市内の幹線道路7路線10評価区間で調査を行ったところ、環境基準達成率は99.3%でした。

評価対象 住居等戸数(戸)	環境基準達成率(%)		
	昼間+夜間	昼間	夜間
2,836	99.3	99.9	99.3



※昼間+夜間：昼夜ともに環境基準を達成している戸数  
 昼間：昼のみ環境基準を達成している戸数  
 夜間：夜のみ環境基準を達成している戸数

## 8 化学物質

福井市では、ダイオキシン類について、大気、公共用水域の水質・底質、地下水及び土壌それぞれの環境媒体における環境基準の達成状況の調査を行っています。

### ダイオキシン類調査結果

令和6年度の調査結果は、次のとおりです。いずれの媒体においても、すべての地点で環境基準を達成していました。

#### 大気

単位：pg -TEQ/m<sup>3</sup>

調査地点		測定値	環境基準
一般地域	豊島2丁目	0.021	0.6
発生源周辺地域	石橋町	0.010	

#### 公共用水域

単位：pg -TEQ/L（水質）、pg -TEQ/g（底質）

調査地点		測定値		環境基準
		水質	底質	
日野川	清水山橋	0.064	1.1	水質：1 底質：150
足羽川	水越橋	0.075	0.38	
底喰川	西野橋	0.073	3.8	
八ヶ川	高江橋	0.22	1.5	
馬渡川	末端	0.14	0.59	
荒川	水門	0.069	0.77	
天王川	末端	0.059	0.96	
狐川	狐橋	0.14	0.95	
江端川	江守橋	0.13	0.58	

#### 地下水

単位：pg -TEQ/L

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	滝波町	0.026	1

#### 土壌

単位：pg -TEQ/g

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	石橋町	2.7	1,000

\*測定値及び環境基準は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値（毒性等量：TEQ）

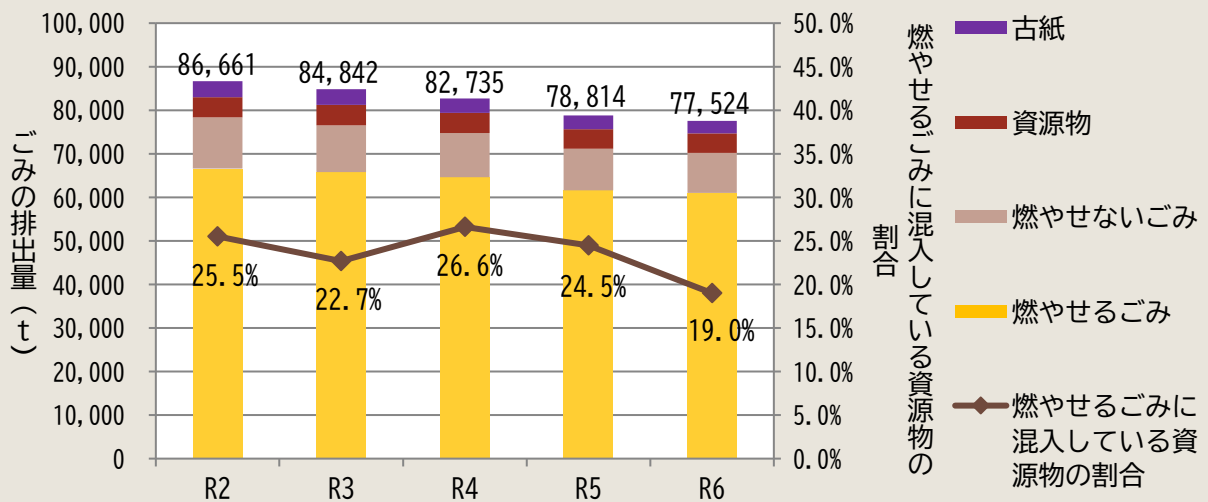
## 9 ごみの排出量と処理状況

### 福井市のごみ処理

令和6年度のごみ総排出量は77,524tで、前年度に比べ1,290t（1.7%）の減少となり、従来からの減少傾向が続いています。また、燃やせるごみに混入している資源物（リサイクル可能な古紙やプラスチック容器包装）の割合も19%と、前年度に比べ5.5ポイント減少しました。

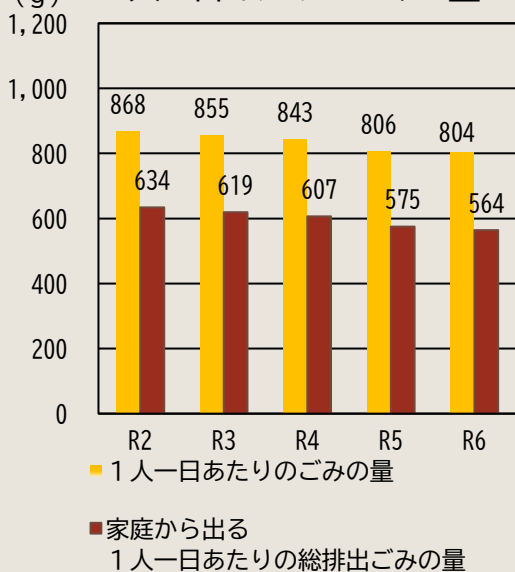
「福井市資源物及び廃棄物（ごみ）処理基本計画」に掲げているとおり、「リサイクル」の取組に加え、ごみの発生抑制「リデュース」、不用品の再利用「リユース」に取り組むことにより、廃棄物そのものの削減を引き続き実施していかなければなりません。

ごみの排出量・燃やせるごみに混入している資源物の割合の推移

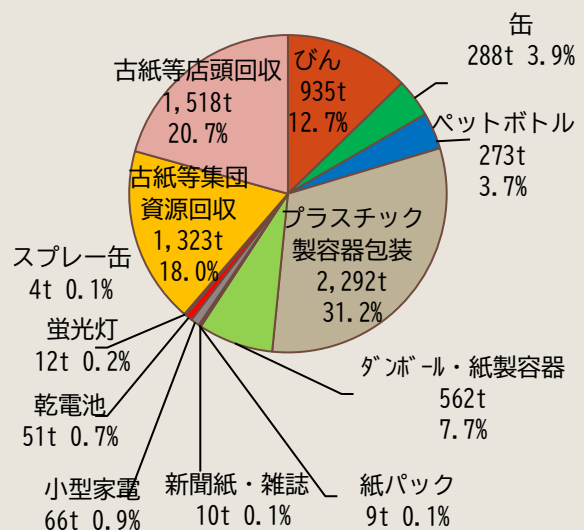


### 福井市民 1人あたりのごみの量

1人1日あたりのごみの量



資源物排出量の内訳



北陸3県初！

令和6年度のトピック

## 福井市「メルカリShops」をオープンしました

### 概要

令和6年5月に福井市「メルカリShops」をオープンしました。これは、北陸3県の自治体で初めての取組であり、処分予定の不用品をフリーマーケットアプリケーション「メルカリ」を利用してリユースしています。粗大ごみの中には、まだ使える物も多く含まれているため、市が率先してリユースに取り組むことで、市民にごみの削減や不用物の有効活用について関心を持っていただき、「循環型社会」の形成に繋げていくことを目的としています。



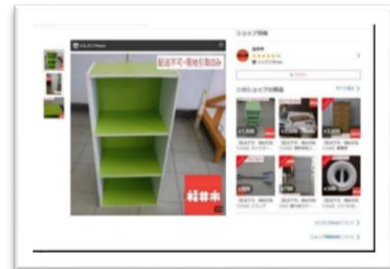
### 事業の流れ

市の収集資源センターに粗大ごみとして持ち込まれる

職員がまだ使える物を選定

福井市「メルカリShops」に出品し、必要な方に譲渡

市が率先してリユースに取り組むことで、資源の循環利用を推進



# 10 美しいまちづくり

## 都市環境の美化

### 福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例

目的：都市環境の美化を図り市民の快適な生活を確保し、清潔で美しいまちをつくる

対象者：事業者（容器入り飲料、たばこ、チューインガムの製造者及びこれらの商品の販売者）  
市民等（市内居住者、勤務者、滞在者及び市内を通過する人）

責務：重点地域における自動販売機設置者は、回収容器を設置し、適正に管理しなければならない

市民等は、自分で出した空き缶などは持ち帰るか、回収容器や吸殻入れ等に入れなければならない

飼い主は、重点地域内で飼い犬等がふんをしたときには、直ちに回収しなければならない

区域：福井市全域

重点区域：①のとおり

路上喫煙禁止区域：②のとおり

◎ポイ捨てはやめましょう！

◎ふんの始末は飼い主が、責任をもって処分しましょう！

◎自動販売機には回収容器を設置しましょう！

◎禁止区域内での路上喫煙をやめましょう！

### ① 重点区域



重点区域内で条例に違反する行為を行った人に対しては、市長が勧告や命令を行い、命令に従わない場合には、罰金、過料を課することができます。

重点区域内の福井駅周辺において、ポイ捨て防止を啓発する活動や清掃活動を実施しています。



## ② 路上喫煙禁止区域



福井駅周辺の環境美化を図ることを目的に、たばこの吸い殻のポイ捨てを未然に防ぐため「路上喫煙禁止区域」を指定しています。



### 不法投棄対策

#### ★不法投棄防止パトロール

山間部や高速道路脇等、通常人の目が届きにくい所のパトロールを行っています。

#### ★監視カメラの設置

目 的：不法投棄の未然防止、不法投棄があった場合の行為者の特定

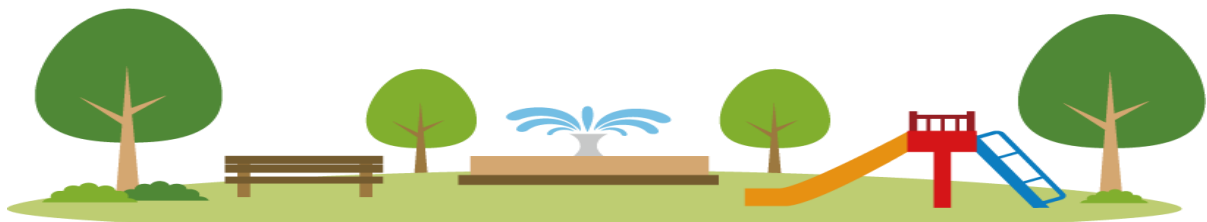
設置場所：山間部の道路沿い、山林・河川敷等で不法投棄が多発している場所、不法投棄が拡大するおそれがある場所 など

### その他

#### ★空き地等の清潔保持

#### ★動物（犬・猫等）の死体処理

#### ★野外焼却の指導



ふくいの環境（令和6年度実績）

（表紙写真：コウノトリ 提供：福井市自然史博物館）

令和8年3月発刊

福井市市民生活部 環境事務所 環境政策課

〒910-8511

福井県福井市大手3丁目10番1号

TEL：0776-20-5609 FAX：0776-20-5754

E-mail：kansei@city.fukui.lg.jp

